

小学部の取り組み【マカトン法】



コミュニケーションをとる手段の一つとして、マカトン法を勉強しています。主に自立活動の一環として、日々取り組んでいます。ある1年生のクラスでは、入学してからマカトンサインのステージ1に取り組み、現在はステージ2まで学習することができています。絵カードのめくりを使って学習をしたり、絵本の読み聞かせの中で取り入れたりするなかで、サインとともにことばが増えてきています。また、日常生活の中でも活用することができてきました。

※ マカトン法（言語やコミュニケーションに問題のある子どものために、英国で開発され、世界の40ヶ国で使われている言語指導法です。音声言語・動作によるサイン・線画シンボルの三つのコミュニケーション様式を同時に用いることを基本とします。言語理解、音声表出、コミュニケーション意欲の向上がうながされます。理解言語にくらべて表出言語に問題のある場合には特に効果的です。引用：マカトン日本協会）

毎日のあいさつ運動

毎朝、生徒会本部の生徒が中心となり、校舎前に立ってあいさつ運動をしています。「あいさつがあふれる学校にしたい」という生徒会本部の思いから取り組みが始まりました。あいさつ運動を始めたころには数人でおこなっていましたが、現在では、生徒会本部の生徒だけでなく、多数の高等部の生徒が参加し、学校を盛り上げています。あいさつ運動をする際は、生徒が作ったあいさつに関するのぼり30本を立てています。



各学部の生徒が考えてくれたスローガンを新校舎前に懸垂幕にしています。こちら是非ご覧置き下さい。

今後の予定

12月22日(金) 終業式

01月09日(火) 始業式